

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第173号
平成31年1月31日



日下川新規放水路事業 トンネル本坑に到達

行政報告	2～4P
審議したこと・決まったこと	5P
請願・陳情・議員提出議案	5～6P
私の意思表示	6P
閉会中の委員会活動	6～8P
一般質問に7氏が立つ	9～15P
議会日誌	16P
行政視察研修報告	17P
編集後記	18P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

投票用紙を廃棄

2013年執行の参議院議員選挙、2009年、2012年、2014年執行の最高裁判所裁判官の投票用紙を、保存期間の誤認識から廃棄した。新庁舎建設に向けて、庁内文書の整理を行っていたなかでのこととはいえ、住民の意思表示の機会である投票用紙の重要性から保存期間が法律で定められているものであり、大変申し訳なく心よりお詫び申し上げますとともに、再発防止に取り組んでいく。

要望活動

各期成同盟会による道路事業関係及び治水事業関係予算の必要額確保・充実に向け、国土交通省・財務省・県選出国会議員・四国地方整備局等に対する要望活動を行った。

インフラ整備の遅れている高知県にとって、地域の実情を訴えることの重要性を感じた要望活動であった。

それ以外では、ゴルフが2020年開催の東京オリンピックの正式競技となることから、ゴルフ場利用税の廃止を求める活動が活発になってきており、ゴルフ場をもつ自治体にとって、アクセス道路等の整備に欠かすことのできない貴重な財源である。全国のゴルフ場を抱える自治体で結成している、ゴルフ場利用税堅持のための全国市町村連盟とともに、存続に向け

て要望を行った。

また、平成32年度をもって期限を迎える過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)について、本村のように人口要件のみで適用外となる全国の自治体で組織する過疎法適用外小規模町村連絡会議で、現在の法律後の取り扱いについて、人口減少要件のみで、適用する自治体と適用外自治体との制度的な大幅な格差は改善すべきとの要望を行った。

高架橋建設の断念と「能津みらい会議」発足

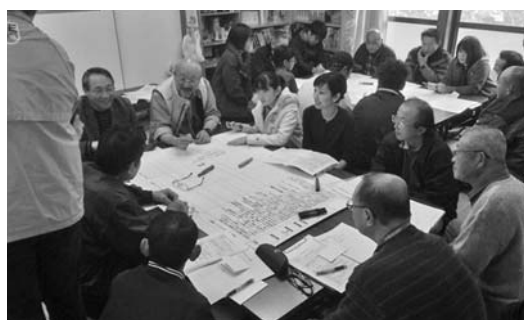
10月21日、能津小学校体育館にて開催した「エコサイクルセンター設置に伴う日高村振興策(高架橋等)に関する説明会」において、能津地区全自治会より32人の住民をはじめ、村議会より会議オブザーバーとして7人の議員の参加のもと、行政・地元においても苦渋の決断となる「高架橋建設の断念」について、ご理解をいただいた。

これまで、「高架橋建設

のため」に積み立ててきた基金2億400万円の今後の使途について、全能津地区を対象とする「新たな振興計画策定」を進めていくことについてご理解をいただきたい。

これを受け11月18日、第1回となる「能津みらい会議」が発足、来年4月まで、毎月1回、計6回の会議を開催し、「新たな振興計画」を策定する。

また、「能津みらい会議」委員構成は、能津全自治会より17人、能津地区でご活躍をされる各種団体等より10人、計27人の委員が参画されている。



第1回能津みらい会議

能津地区の皆様方には「高架橋建設の断念」をご理解いただいたうえで「新たな振興計画」づくりとなり、多大なご負担をお掛けしますが、日高村も関係機関の協力も得ながら、できる限りの支援を検討・実施していく。より良い能津地区の発展に向け、「能津みらい会議」における議論を尽くしていただきました。

龍馬チャレンジ検討委員会開催

10月23日に「龍馬チャレンジ検討委員会」を開催し、「龍馬チャレンジ企画に関する実績報告」「基金運用に関する方針等の検討」などを行った。

龍馬チャレンジの初期の目的をほぼ達成したことから、12月末をもって事業を終了することとした。

今後はいただきました基金の運用について検討を行い、議会にも相談し、事業計画を作成する。

日下川新規放水路の進捗状況

日下川新規放水路の進捗

状況は、鹿島建設株式会社により、平成30年1月17日から平成33年3月31日の工期で、トンネル延長5千130m中、呑み口側2千850mの工事が進められている。

NATM(ナトム)工法というトンネル工事では、主流の工法で掘り進められ、現在は作業坑トンネル235m中、約200mまで進み、12月末頃にはトンネル本坑に到達し、その後、呑み口・吐口の2方向に掘削していく。

作業は2交代24時間、発破を行い1日4m程度進んでいる。発破音は、近隣住民のヒアリングを行いながら火薬の量などを調整し、発破作業を7時から22時の間とすることで、了解を得て工事を進めていると聞いている。

また、現場詰所では、見学者スペースを設けて、様々な団体等への工事概要

の説明を行い、放水路ニュースを毎月1回、瓦版を発行し、近隣住民への配布を行うなど地域に開けた形で工事を進めている。

(株)イチネン農園 日高農場施設が完成

9月18日に、落成祝賀会が執り行われ、神事後、施設見学・祝賀会が開催された。

この施設は、高知県では、最初となる県外大手企業による農業進出のための連携協定を平成29年1月に、県村、JACコスモス、イチネンホールディングス4機関で締結し、平成29年1月に、5千216㎡の高度環境制御栽培施設(高軒高ハウス)1号ハウスの建設着工、同4月に管理事務所の建設着工、同9月に両施設が完成し、ミニトマト栽培を開始。続いて、同12月に2号ハウス(6千48㎡)、3号ハウス(1万1千352㎡)の建設工事に着工、平成30年8月に両施設完成、同9月より全ハウスで栽培を開始し、

今後は収量年約400tを目標に栽培に取り組んでいくとお聞きしている。

武政健夫さんの ガラス彫刻展

11月6日から3日間、「図書館ほしのおか」で、武政健夫さんのガラス彫刻展を開催した。

このガラス彫刻の光と陰が刻む透明の世界は、見る角度により、全く違う表情をみせる素晴らしい作品で、観覧には、村内外より983人の来場があり、皆様に良い機会が提供できた。

ひだか茂平マラソン

11月25日、ひだか茂平マラソンには、360人余りのボランティアの皆さんのご協力のもと開催することができ、心よりお礼を申し上げます。

本年は、全国より1千346人の申し込みがあり、1千200人の方が完走された。折り返し点の猿田洞前では、忍者に扮した子どもたちの声援もあり、ランナーからは、「ボランティアの皆さんや沿道から多くの声援をいただき、嬉しかった」



第12回ひだか茂平マラソン

などの声も寄せられた。今後とも魅力ある大会となるよう努めていきたい。

村表彰・叙勲等受章

11月3日に村表彰式を行い、功労表彰は、長きにわたり村議会議員として活躍された岡本光男さん、壬生豊秀さん、元消防団員の北添安さんが受賞された。

善行表彰として、村へ土地を寄附された安岡巖さん、竹本賀代子さん、寄附金をいただいた日高村に縁の方(匿名希望)を表彰した。

同日、秋の叙勲において、瑞宝単光章を元消防団員の吉村徳男さんが受章された。心からお喜びを申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

あわせて岡本光男さんが、長い間の議員としての活動が認められ、地方自治功労で県功労賞、また総務大臣より感謝状を受賞された。お祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご



村表彰式

詩吟愛好グループ「一声和合地区会」の皆さんが、「合吟の部」県予選でトップに立ち、中四国大会へ出場、優勝を飾り、中四国1枠の代表として、念願の「全国吟道大会」への出場を果たされた。

メンバーは、22歳から94歳と世代を超えて、地域で生きがいを持たれて

活躍をご祈念いたします。野村重夫議員が7年にわたり監査事務に精励し、行政の公正と効率的な運営に貢献されたことにおきまして、全国町村等監査委員協議会表彰を受賞された。心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



功労表彰を受賞された野村重夫議員

「一声和合地区会」全国吟道大会への出場

の素晴らしい活動に、今後ますますのご活躍をご祈念いたします。

**戸梶昭雄さんが
オールド文化展写真の部で特選**

9月開催のオールド文化展写真の部で、下分の戸梶昭雄さんが、特選を受賞された。

戸梶さんは、村のいろいろな行事の様々な場面をシャッターチャンスを見逃さず、カメラに収められている。その感性と高い技術を発揮されての受賞、おめでとうございます。

れ、素晴らしい成績を収められた。日高村出身の方が活躍されますことは、大変嬉しく、誇りに思うと共に成果を讃えます。

**日高中学生の
頑張りにもエール**

10月28日、第38回全国豊かな海づくり大会(高知家大会)が、天皇陛下御臨席のもと行われた。

作文コンクール部門で、日高3年生の岡村葵陽(あおい)さんが水産庁長官賞、戸梶新菜(にいな)さんが高知県知事賞をそれぞれ受賞された。

またサッカー部が、第25回高知県中学校サッカー選手権大会で、準決勝進出を果たし、強豪土佐中に1対0で接戦の末、惜しくも敗れたが、14年ぶりに3位入賞をした。

陸上部は、第37回高吾地区中学校駅伝競走大会で、男子3位、女子2位と健闘した。

これからの日高村を担っていく子どもたちが、いろ

いろな場面において活躍されることは、大変嬉しく、頼もしく思う。日高村の小学校の日々の教育活動への真摯な取り組みと生徒の頑張りにもエールを送るとともに、先生方の熱心なご指導に敬意を表します。

日高中の河野教諭が、「土佐の教育実践表彰」を受賞

日高中学校の河野美佑貴教諭が、「土佐の教育実践表彰」を受賞された。

この賞は、日々の教育実践で地道な努力を続け、優れた成果が認められた職員に贈られる賞である。河野教諭は、日高の教育の振興のために多大なる尽力をされ、日々のご労苦に敬意を表しますとともに、本受賞のお喜びを申し上げます、今後ますますのご活躍を期待いたします。

平成30年第4回定例会

審議したこと 決まったこと

H30.12.6~12.13

12月議会では、予算関係6件、条例関係2件、その他1件、議員提出議案4件、計13議案と陳情2件の合計15件が決まった。

条例

◎一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告の趣旨に沿って、国準拠に基づき、初任給1千500円引き上げ、若年層も1千円程度の改定。給料表を平均改正率0.2%の引き上げ・勤勉手当0.05カ月の引き上げ等の改正を行うもの。

◎日高村消防団の設置に関する条例の一部を改正する条例

消防組織法の改正により、修正するもの。



予算

◎平成30年度日高村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1千90万2千円を追加するもの。

質疑

問 空調設備機器導入事業

で、村内の3小中学校へのエアコン設置の説明があり、大変喜ばしいことであるが、負担金の補正がない。

答 同じ村内の小中学生が通う加茂小中学校へのエアコン設置は、どのようになっているか。

答 日高村佐川町学校組合議会の中で、上程をされると聞いている。

問 エアコンの予算は組んだが、商品が間に合わない事態にならない手だてはきちんと講じているか。

答 予算がつき、国の申請

要綱が決まれば、順次進めたい。どういう事態になるかわからないが、できる限り早急に進めたい。

◎平成30年度日高村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5万2千円を追加するもの。

◎平成30年度日高村簡易水道特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ594万8千円を追加するもの。

◎平成30年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算(第2号)

歳出予算の組み替えを行うもの。

◎平成30年度日高村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ173万1千円を減額するもの。

◎平成30年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ140万円を減額するもの。

その他

◎村道の路線認定について

決まったこと

請願・陳情

継続審議

◎国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める陳情書

提出者

高知県教職員組合

執行委員長 坂本 忠雄

採決 全員賛成 採択

◎待機児童解消、保育士の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書

提出者

保育の公的保障の拡充を求める大運動高知県実行委員会

会長 田中きよむ
採決 全員賛成 採択

平成30年12月議会
議員提出議案等

◎待機児童解消、保育士の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書案

提出議員

賛成署名者

池田 雄
西川龍子
戸梶 章
森下芳文

◎国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める意見書案

提出議員

賛成署名者

西川龍子
戸梶 章
森下芳文
池田 雄

◎公共事業等における国産材（地域材）の利用推進を求める意見書案

提出議員

賛成署名者

藤原利彦
尾崎政廣
野村重夫
横山泰昌
山中鶴幸

◎能津・日下間のトンネル設置に関する決議案

提出議員

賛成署名者

池田 雄
全議員

私の意思表明

12月第4回定例会

○賛否の分かれた議案等

○：賛成

●：反対

氏名	山中鶴幸	藤原利彦	池田雄	森下芳文	横山泰昌	西川龍子	野村重夫	尾崎政廣	戸梶章	森下雅文	結果
議案										議長	
なし											

(12月第4回定例会 全会一致 15件)

※賛否の分かれた議案は全て掲載していますが、全会一致の議案につきましては紙面容量によりまして省略しています。
※議長は、議決に加わらないが、賛成、反対が同数となったときは、採決権の行使をします。

閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 西川龍子

11月27日（火）午前10時より

川村住民課長より

- ・差し押さえ不動産の公売と再公売について報告。
- ・3会計の補正予算の報告。
- ・来年度の確定申告について説明。

井上教育次長より

- ・「ガラス彫刻巡回展」と「茂平マラソン」について説明。

- ・「全国豊かな海づくり大会」の作文コンクールで「水産庁長官賞」を日高中3年生の岡村葵陽さん、「高知県知事賞」に日高中

3年生の戸梶新菜さん、「土佐の教育実践表彰」を日高中の河野美佑貴教諭が受賞。

- ・日高中サッカー部が「高知県中学サッカー選手権大会」で3位入賞と喜びの報告。
- ・今後の予定と一般会計補正予算の報告。

山崎企画課長より

- ・9月議会以降の取り組み7件について報告
- ・一般会計補正予算について報告。

森下総務課長より

- ・「日高村表彰」と「日高村防災訓練（加茂地区）」について報告。
- ・今議会提案の条例改正2件と村道の路線認定1件、6会計の補正予算の報告。

委員より

様々な質問や要望があり、執行部より説明され、閉会した。

経済建設厚生
常任委員会



委員長 野村重夫

11月28日(水) 午後3時
より

松岡産業環境課長より

1. 村の駅ひだかの状況について

4月から10月までの直販所の売上額は1億2千852万円余、前年度比96・5%で、レジを通過した来客者は11万7千658人、前年度比96・6%となっている。11月20日には、レジ通過が80万人となり、高知市の方に記念品を贈呈した。

2. 婚活イベントについて
10月14日に、商工会青年部に委託して婚活を実施した。参加者は男女とも15人、男子の

平均年齢は31・7歳、女子は35・1歳、カップル成立は2組であった。

3. 粗大ごみの受け入れについて

10月6日、7日、13日、14日に後期の粗大ごみの受け入れを行った。鉄くず7・14トンと、木くず19・95トン、布団など5・71トンを集めた。埋め立て処理が必要な雑ごみは27・3トンで、合計60・17トン、前年度比109%となっている。

家電リサイクル対象品の持ち込みもあり、持ち帰ってもらった。今後もルールを守った粗大ごみの持ち込みとなるよう啓発に取り組んでいきたい。

谷脇健康福祉課長より

9月27日に村長とご長寿者を訪問し、お祝いの言葉と記念品を贈った(100歳6人、101歳以上2人)。

10月5日総合健診を実施。特定健診では78人が受診、11月20日時点での本年



粗大ごみの受け入れ

度受診者47人(受診率43・6%)で昨年度より9人増えた。

大川内建設課長より

村道繁谷線ほか1路線道路改良を発注し、工期は平成30年9月7日から平成31年2月18日となっている。

馬越南地区の床上浸水対策工事計画について、地域

住民や地権者42人中6人の参加のもと説明会を開催した。工事による地盤沈下等での家屋への影響を心配する意見があり、最善の工法を採用し、今後も関係者への説明を尽くして理解、協力を求めていきたい。

江尻地区「かわまちづくり」事業計画については、順調に進んでいる。

日高村振興対策
特別委員会



委員長 戸梶 章

11月28日(水) 午前10時
より

山崎企画課長より

10月21日能津小学校にて「エコサイクルセンター設置に伴う日高村振興策(高架橋等)に関する説明会」を開催。

地元自治会32人と役員及び関係者10人、議員7人が参加し、高架橋建設の断念と能津地区における新たな振興計画を策定することが確認された。

11月18日第1回の「能津みらい会議」を開催。

能津地区27人の委員により、平成31年4月期を目標とする会議開催計画並びに、その取り組み方針や地域の現況確認など、検討

テーマが確認された。

- 1. 能津地区にある保育園と小学校を存続させ得る「新たな振興計画」として、能津地区全自治会が一つになってその策定を図る。
- 2. 計画の策定に際しては、「移住定住、観光振興、就労、情報発信、道路整備、教育、地域交通・コミュニティ」などを主なテーマとして検討を進める。

松岡産業環境課長より

村の駅ひだかの上半期は、前年比で96%程度の売り上げと集客数であったが、10月からは前年比の119%と順調であることが報告された。

委員より

村の駅ひだかでのお客さんへの対応や販売品の片づけが、最近あまり良くないとの指摘があり、松岡課長より駅長と相談してより良い運営を目指すと言われた。

大川内建設課長より

県道庄田伊野線の名越屋

周辺改良工事について、未改修部分を急いでほしいとの要望があり、新たな箇所を高知県に示し、既に現地調査が進んでいるとの報告があった。

日高村治水対策特別委員会



委員長 尾崎政廣

11月28日（水）午後1時より

前田治水対策室長より

- 1. 前回委員会以降の取り組み状況

(1)大内南の谷地区

第9回新日下川放水路対策協議会開催

日時 9月1日

場所 南の谷コミュニティセンター

内容 工事進捗状況報告

・代替水源地・町道整備等



現場見学者スペースで工事概要説明を受ける

(2)馬越南地区

床上浸水対策工事・地元説明会開催

日時 9月27日

場所 沖名集会所

内容 事前家屋調査など

説明

(3)馬越南地区

床上浸水対策工事早期着工に関する要望書受領

提出日 10月29日

内容 馬越南地区代表者

笹木重幸他17人

(4)国・県に要望活動

2. その他

床上浸水対策特別緊急事業 工事進捗状況

①国事業 斜坑口ヤード、中村地区寄宿舎、放水路橋付け替え工事

②県事業 河川改修、残土処理場盛土計画

③村事業 床上浸水対策事業

④村事業 床上浸水対策事業

⑤村事業 床上浸水対策事業

⑥村事業 床上浸水対策事業

⑦村事業 床上浸水対策事業

⑧村事業 床上浸水対策事業

⑨村事業 床上浸水対策事業

⑩村事業 床上浸水対策事業

⑪村事業 床上浸水対策事業

⑫村事業 床上浸水対策事業

⑬村事業 床上浸水対策事業

⑭村事業 床上浸水対策事業

⑮村事業 床上浸水対策事業

⑯村事業 床上浸水対策事業

⑰村事業 床上浸水対策事業

⑱村事業 床上浸水対策事業

⑲村事業 床上浸水対策事業

⑳村事業 床上浸水対策事業

㉑村事業 床上浸水対策事業

㉒村事業 床上浸水対策事業

㉓村事業 床上浸水対策事業

㉔村事業 床上浸水対策事業

㉕村事業 床上浸水対策事業

㉖村事業 床上浸水対策事業

㉗村事業 床上浸水対策事業

㉘村事業 床上浸水対策事業

㉙村事業 床上浸水対策事業

㉚村事業 床上浸水対策事業

㉛村事業 床上浸水対策事業

㉜村事業 床上浸水対策事業

㉝村事業 床上浸水対策事業

㉞村事業 床上浸水対策事業

㉟村事業 床上浸水対策事業



新規放水路トンネル内部を視察

以上の説明を受け、その後現地視察を行った。現場での説明では、斜坑口より約170m掘り進んでおり、12月末に本体トンネルの方に到着する。発破作業は、1日3回行っている。また特に発破による振動、重機の作業については、十分な注意をして行っている。次に、文瀬橋から下流右岸の流竹木が、川の流れを阻害している現場を確認して、その日の会を閉じた。

一般質問に7氏が立つ



藤原利彦議員

岩目地交差点改良工事について

質問 日下大橋改良工事が終了すれば、次の工事は役場前から駐在所までの改良を考えているとのことであったが、それは決定事項か。

答弁 大川内建設課長 役場前から駐在所までの間については、あくまでも村としての現時点での考えであって、事業実施にあたっては、地元住民、また国土交通省との調整が必要になってくる。

質問 決定事項ではないという答えだと思いが、であるならば、次の工事を決める優先順位は何か。

答弁 大川内建設課長 村中心部であり、歩道も整備されていない区間で、地元説明会も行っており、役場前から駐在所付近までの事業化については、最重要課題として考えており、その次には、岩目地交差点の渋滞対策

というものが挙がってくるのではないかと思う。

質問 高知西バイパスが開通し、日下大橋が完成すれば、次は岩目地交差点が渋滞することは目に見えている。駐在所までの改良も大事なことだと思いが、今でも朝夕の渋滞がひどく、なるべく早く改良工事に移れるように検討をお願いする。

日下川河川改修工事について

質問 小鹿児橋からの下流の南岸に改良工事が行われていない部分があるが、その理由は何か。

答弁 大川内建設課長 日下川改修計画では、計画流量を流すための河川断面の確保が基本で、ご指摘の箇所においては、計画断面以上が、確保されているため、護岸工事の計画はない。また、家屋の床上浸水をなくするのが基本で、竹木等流水に支障をきたす場合には、伐採を行うようになっていると聞いている。



小鹿児橋下流右岸

質問 新しい放水トンネルの一秒あたりの放水量、また時間雨量にすれば、どの位になるのか。

答弁 大川内建設課長 設計流量は毎秒70tで、最大流量は毎秒120tである。一概に時間雨量で表現はできないが10分の1の確率雨量で設計さ

れており、公表資料では、佐川観測所で、日雨量342・2mm、1時間雨量78・0mmである。

その他の質問事項

○日高村のホームページについて

消費税10%への増税中止を



野村重夫議員

質問 消費税について、どう思うか、村民に聞いた。「国の無駄遣いから見直すべきだ」「財政的に仕方がないところがあるが、大事なのは使い道だ」「借金の返済に使って、社会保障に使っていない」「8%でも大変なのに、これ以上増税になったら、やっていけない」「低年金者にとって生活しづらくなる」。

子育てをしている若いお母さんに聞いた。「子育てで精いっぱいです。働く時間も限られていて、とてもついていけない」。

「50歳代の男性は「軍事費を削減したらよい。オスプレイはいらん」。村民の中には、消費税が増税されたら、生活できないという声が多くあった。

安倍首相は、来年10月からの消費税増税分は全部社会保障のために使うとっているが、消費税導入から28年間で集めた消費税額は349兆円になり、法人税減税に291兆円(約8割)が使われていて、多くが社会保障のために使われていない。

日高村の村民の負担額は、138億8千万円になる。4人暮らしの家庭で年間約25万円の消費支出が減り、暮らしを直撃し、また社会保障費は削減されている。これでも社会保障費に100%使っていると

答弁 戸梶村長

消費税の使い道については、消費税法で決められている。全額社会保障費にいくといわれているので、法人税の減税に使われるというふうには考えていない。

質問 村民の声の中には、

社会保障がよくなったという人はいない。暮らしがちよつとでもよくなったという人もいない。消費税が生活を壊し、ますます格差が広がったと思うが、どうか。

答弁 藤田副村長

格差が広がったか、どうか特定できない。

18歳未満の医療費の無料化

質問 来年度予算で18歳未満の医療費の無料化の実現を。

答弁 戸梶村長

来年度予算の中で、子育て施策の一環として位置づけがどうかという点も含めて、担当課から要望があると思うので、その中で全体のかた

ちを見ながら議論していきたい。今後2〜3年ぐらいは非常に多くの一般財源を必要とする事業が展開される。ただ子育て施策は、非常に大事だと思うので、その中で、議論して方向づけをしていきたい。

非核宣言の村の看板

質問 新しい庁舎ができるときに、支柱など含めて考えるとの答弁があっているがどうか。

答弁 戸梶村長

非核宣言の村という看板を掲げているが、非核宣言をしている自治体は、全国で非常に多くの自治体があり、核兵器については、断固反対するという姿勢に変わりはないので、その意思表示をするという観点から、新庁舎検討委員会の中で議論していきたい。

その他の質問事項

○障がい者に優しい村づくりについて



役場に掲げている「非核宣言の村」の看板

日高の宝 子どもを守れ!



西川龍子議員

質問 昨年の文科省の「問題行動調査」によると、全国の小・中・高で増加。高知県内でも、いじめ認知件数が約1・5倍に増加。形態はひやかしや、からかい、悪口が多

く、中・高では、パソコンや携帯電話での中傷や嫌がらせが多い。村内の現状と対策は。

答弁 吉岡教育長

4月から現在の現状件数は、日高中で2件、日下小で6件、能津小で5件の報告があり、早い段階で解決。不登校では、30日以上欠席が、日高中で4人、日下小では1人。

教育委員会として、国の様々な対策を活用、村の教育支援室の機能と児童・生徒の個々の背景分析等も実施し、改善に向けた対策を講じるよう指示した。

現在、ネグレクトは10件、心理的虐待は3件。村では、健康福祉課と教育支援室の連携により、減少傾向にある。危機感をもって対応に全力で取り組む。

質問 「通学用の荷物が重すぎる」との声を受け、文科省は、全国の教育委員会に一部の教材を教室に置いて帰る「置き勉」を認める対策を検討するよう通知したとある。

脱ゆとり教育後はページ数も1・5倍の増、15年前に比べ教科書が大判化、副教材も増。柔道整復師は「重い荷物を背負っての通学がもたらす健康への被害は、背骨がゆがむ側湾症、神経を圧迫し、ヘルニアの症状が出る場合もある。膝や腰、股関節等、下半身への影響も懸念。子どもは、関節が未発達のため、下半身の関節の変形もある。担任の判断のもと、宿題や自主勉を除き、置き勉で通学用カバンの軽減策を。

答弁 吉岡教育長

文科省から9月に、県から12月に児童、生徒への携行品の重さや量への配慮について、適切な対応と教材や学習道具を学校に置いて、帰ることを認める文書がきた。

日高村教育委員会として、校長会で趣旨説明を行い、学校での保管方法等を、現在検討している。

脱ゆとり教育後はページ数も1・5倍の増、15年前に比べ教科書が大判化、副教材も増。柔道整復師は「重い荷物を背負っての通学がもたらす健康への被害は、背骨がゆがむ側湾症、神経を圧迫し、ヘルニアの症状が出る場合もある。膝や腰、股関節等、下半身への影響も懸念。子どもは、関節が未発達のため、下半身の関節の変形もある。担任の判断のもと、宿題や自主勉を除き、置き勉で通学用カバンの軽減策を。

質問 過去のワクチン制度の在り方が影響して、免疫のない人が多い30代から50代の男性を中心に風疹が流行。政府は2014年度より、妊娠を望む女性や配偶者等を対象に5千円前後かかる抗体検査を無料化。今年の流行を見据えた来年度から30歳から50歳の男性を対象として、ワクチンについても、無料とする報道があった。村内の対象者に周知が重要。

答弁 谷脇健康福祉課長

注意喚起について、広報やIP告知端末等で引き続き行う。国への確認も行い実施の検討をしていきたい。

内閣府は、来年10月に予定の乳児教育、保育の無償で3歳から5歳児の保育料の無償化と給食を全額保護者負担とする方針と発表。子育て環境で、日高村に定住、移住を促進し、高知に近い村、通勤圏の利点も生かし、保育園の給食化と無償化を要望。

内閣府は、来年10月に予定の乳児教育、保育の無償で3歳から5歳児の保育料の無償化と給食を全額保護者負担とする方針と発表。子育て環境で、日高村に定住、移住を促進し、高知に近い村、通勤圏の利点も生かし、保育園の給食化と無償化を要望。

答弁 戸梶村長

保育料は、平成30年度は国の基準額に対し、保護者負担額を約48・8%と子育て支援策として、軽減策を取っており、給食費の実費相当額は、国の動向等を見て方向を決めたい。

その他の質問事項

- 認知症対策
- 通学路のブロック塀対策
- 液化化ハザードマップの作成
- 液体ミルクの備蓄
- 体育館に空調整備
- 他3項目



30有余年の 内水問題解消へ!!



戸梶 章議員

質問 平成32年度内の完成を目指している「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業」のうち、日高村が担当する馬越南地区、竜石地区、岡端地区への施工方針や問題点等を確認したい。

答弁 大川内建設課長

1. 馬越南地区については、浸水についての解析結果より天端高さがTP+18・5mの周囲堤と口径250ミリの排水ポンプ2台を設置する案で、平成31年度内の完成を目指している。

2. 竜石地区については、

家屋のかさ上げ補償が1戸と移転補償2戸に加えて、団地内の道路の冠水遅延を目的として、口径250ミリの排水ポンプ2台の案で、平成32年度内の完成を目指している。また、竜石地区より平成28年6月30日付で、提出されている陳情書にも沿っ



岡端地区 J R 土讃線下暗渠

た内容であると考えている。
3. 岡端地区は当初の周囲堤案ではなく、現時点ではJ Rを横断している暗渠断面積を拡幅する方向での設計・検討を進めている。

より良い 村づくりへ!!

質問 北海道厚真町の土砂崩れや南海トラフ地震の30年発生確率が70から80%とされる日高村の現状を考えると、村内の危

険箇所もある程度予測して、これらへの対処方針なども考慮しておくべきだと考えるが。

答弁 大川内建設課長

高知県が土砂災害特別警戒区域であるレッドゾーンに関する現地調査を実施しており、平成31年度以降に順次区域が指定される見込みであり、指定を受ければ規制もかかるので、おのずと役割を持った安全確保が求められる。

質問 産業環境課の主要施策である「村の駅ひだか」や「村内のトマト事業」での具体的な成果等を確認したい。

答弁 松岡産業環境課長

村の駅ひだかは、平成30年11月にレジの通過者数が80万人目を迎え、年間20万人程度の交流人口を増やすことができ中心的な役割を果たしていると思っている。

村内の出荷者数も平成26年度が231人、平成29年度が285人と徐々に増加しており、販売額も平成29年度が約1億200万円と増

えてきており、できれば耕作放棄地の有効活用等にも、今後つなげていきたいと考えている。

またシユガートマトの生産者は、個人14人と1法人で約609アールの作付け面積で、従業員数は54人となっており、平成29年度は約3億6千万円の売り上げを確認している。ちなみに、ミニ・大玉・シユガーなど、村内のトマト関連への総従事者は129人となっている。

質問 健康福祉課長の追加主要施策を聞く。

答弁 谷脇健康福祉課長

1つ目は、社会福祉協議会など関係機関と連携しながら、生活困窮者への支援の強化を目指したい。

2つ目は、日高村にも子育て世代包括支援センターが設けられており、センターの存在を周知するとともに、子育てしやすい環境の整備や産後のケアなど、妊娠から子育てまでのきめ細かく、切れ目のない家庭支援を充実させたい。

文科省のいじめ等の調査について



池田 雄議員

質問 昨年度、文科省が発表したいじめ等の調査によると、認知件数が増加したという結果が出ているが、これについて、国、県は「いじめの発見を積

極的に行い、早期対応、解決する力が浸透してきた結果」と分析している。教育長の見解を聞く。

答弁 吉岡教育長

教育委員会としても危機感を持って対応していく。件数の増加についても、正確な数字になったと分析をしている。今まで見過ごされてきた事例を学校、家庭、教育委員会が把握できた結果と考える。今後も早期発見、早期対応を心がけ、危機感を持って対応する。

質問 この結果は、教員の立ち位置が子どもに近づいた結果、また教員の意識が子どもの意識に寄り添ってきた結果であると考ええる。

同調査では、インターネット上等での誹謗中傷が過去最多であった。今後増加すると思われるが、対応できるのは教育であり。系統的、段階的に取り組むべきだと考えるが、教育委員会としての対応策を聞く。

答弁 吉岡教育長

文科省も教員向けの対

応マニュアルを作成しているが、有効な対応策、解決策はないのが現状である。教育委員会の取り組みと同時に教職員研修等を実施し、危機感を持って全力で対応する。

夢団地の定住について

質問 夢団地についての9月議会、村長答弁を整理すると、当初、夢団地計画段階では「定住」と表記しながらも、入居者が能津を気に入って、新たな住宅を建設してくれることを目的とした定住という意味であり、入居者を「回転」させていく計画であったが、途中から「住み続けられる状態になった」ので、回転ができなくなっている。現在に至っている、と読み解けるが、見解を聞く。

答弁 戸梶村長

もともと夢団地は保育園、小学校を存続させるためのものと認識しているが、公営住宅のため、(義務教育の)時期が過ぎたら退去すると明記で



若者定住住宅(夢団地)

きなかった。これらの方々が住んでいる間に必要な手立てができなかった。現在の状態の中で急ぎ、手立てをしているのが現状である。

質問 夢団地入居当時、子どもに対する支援施策があったが、「公平でない」という理由で打ち切りになっている。行政における公平とは何かを聞く。

答弁 藤田副村長

生活条件等が不利な地域に対して可能な限り同じ条件になるように努力していく。これも公平な行政の在り方ではないかと思う。

能津みらい会議

質問 現在能津みらい会議で今後の振興策が議論されているが、将来同じような経緯になっていく心配はないか。確認したい。

答弁 戸梶村長
その心配はないと考えている。

その他の質問事項

○小中学校のエアコン設置について

観光客誘致と 振興について



山中鶴幸議員

質問 当村への観光客数は、マイカーやモーターバイク、年に数える程度の観光バスのお客様に限られており、胸を張って言えるほどの数ではないと思う。

その要因として、お越しいただく交通手段と、観光地をめぐる移動手段がない。そして、観光地の整備不足とPR不足も要因だと考える。また、村内に宿泊施設がないことも気にかかるところであり、観光資源が少ないといったことは、あまり要因でないと考える。

村は今こそ、他に遅れることなく、本気でアクションを起こすときではないか。県外の成功例を2件挙げると(中略)の成功例もある。

近年、外国人観光客は、団体から個人旅行に変化しており、トラベル会社も、外国人観光客を地方の観光地へと取り組みをしており、外国人観光客が増え、にぎわいを取り戻した。また、注目のなかった所が、外国人観光客によって観光を浴びる名所になったという事例も聞くが、一考してはどうか。

また、移住されてきた方で、宿泊施設の経営をしたい方がいるので、報告しておく。

そこで、村観光の振興と発展が、おいては雇用対策・経済発展・人口増

つながると考えており、村観光の振興を仁淀ブルー観光協議会任せでなく、前述も参考に地域支援員のミッションとして、職員と連携による、観光客誘致に本腰を入れ、無理だろうと思われることを常識化する素晴らしい新発想による取り組みをし、村観光の振興と発展について、所見を聞く。

答弁 松岡産業環境課長

外国人対応の観光案内看板設置場所は、日下駅駅舎、小村神社前駅、岡花駅、村の駅ひだか、猿田洞、メダカ池、小村神社に設置し、2カ国語表示をし、屋形船仁淀川の観光案内看板は、5カ国語表示をしている。

パンフレットでは、「むらたび」「屋形船で楽しむ仁淀川」の2種類に、英語版・ハンゲル語版・中国語版(簡体語・繁体語)を作成し配布している。

本年の主な観光施設等の来客数は、村の駅ひだか(4~11月)13万5千607人、屋形船仁淀川(1~11月)5千719人(うち



2カ国語表示の日下駅観光案内版

外国人30組292人)、江尻で行っているSUP及びラフティング(4~9月)1千37人、「POP UP INN」によるBBQ体験(7~10月)66人、猿田洞ケイビング(4~11月)69人である。また、オムライス販売数(4~9月)3万2千301食となっている。

このように以前に比べ多くの方が、日高村へお越しただけるようになっていると感じている。

村としては、より一層の観光事業の充実・推進を図るために、本年度、

村の駅に観光案内所の設置を計画し、設計に取り掛かっており、今年度完成を目指している。

また、観光協会設立に向け、県のアドバイザー事業を活用し、村、駅の、商工会、地域支援員、地域おこし協力隊等で、研修及び検討会を行っており、来年度、観光協会の設立を目指したい。なお、観光案内所は、パソコン・電話による外国人対応可能施設の準備を行っており、村独自の観光案内所、観光協会を設置・設立により、一層の振興と発展を図れることができればと考える。

質問 観光協会の早期発足を願います。また、強い志をもって、村観光の振興と発展を図り、日高村の地名が、さらにブランド化するよう努めていただくことを強く願います。

その他の質問事項

○自然体験型観光について



森下芳文議員

能津との一体的発展はトンネル以外に道なし

質問 加茂、日下、能津が合併したときの人口は7千人台の人口が、今5千人、中でも能津は千500人から500人を割るまでになっている。

日高村の中でも過疎が一番激しい地域。その最大の要因はトンネルが抜けてないことである。

能津の活性化なくして日高の発展はなし、というぐらいの思いで取り組まなければならぬ。村長の考えを聞く。

答弁 戸梶村長

全くそのとおりである。能津、日下間のトンネルは、今声を上げなければいけない時期と思う。議会の協力も得ながら、声を上げる方法を検討する。

保育、小学校をなくしたら過疎に歯止めがかからない

質問 学校、保育を守るといふ大前提で取り組むべき。5年後の入園児ゼロを危惧して、保育新設を断念すべきではない。村長の考えを聞く。

答弁 戸梶村長

私も同じ考えを持っている。非常にハードルは高いが、今打てば、まだ間に合うと信じて対策を打っていく。

放水路ニュースは、広報に載せるべし

質問 放水路ニュースを近隣住民に配布しているとのことだが、水との闘い30年の歴史、全村民の関心事で、村の広報に載せるべきと思うが。

答弁 大川内建設課長

床上浸水対策事業は、村民に周知し、理解を得ることが重要と考えるので、村広報誌に掲載して周知を図る。



鹿島建設(株)が配布する放水路ニュース Vol.1～Vol.6

画竜点睛を欠く事態は避けよ

質問 日下川南岸の2カ所の対策は進んでいるか。誰の目で見ても、日下川の流れが良くなったことが実感できる状態にせよ。

答弁 大川内建設課長

流水を阻害する箇所については、対応していくことを担当は言ってくれている。県と連携して対応する。

その他の質問事項

- 日下小学校裏の工事
- 村庁舎について
- トマトハウスについて
- 人口対策について
- 村表彰について

議
会
日
誌

10
/
2

日下小学校運動会
森下(雅)議長
西川

4

仁淀川改修期成同
盟会祝賀会
森下(雅)議長

5

村表彰審査会
森下(雅)議長
農業委員会 藤原

7

能津地区運動会
森下(雅)議長
西川・池田

9

仁淀川改修期成同
盟会要望活動
森下(雅)議長

12

高幡町村議会議長
会親睦体育大会
尾崎欠席

15

議員行政実務研修
森下(雅)議長
戸梶・山中・藤原
池田・森下(芳)
西川・野村

16

議会広報発行調査
特別委員会
西川・山中
森下(芳)・野村
森下(雅)議長

17

仁淀川・日下川改
修期成同盟会要望
活動
森下(雅)議長

尾崎

18

四国地区町村議会
議長会研修会
藤原欠席

19

仁淀川広域市町村
圏事務組合議会決
算監査
池田

21

エコサイクルセン
ター設置に伴う日
高村振興策に関す
る説明会
森下(雅)議長
戸梶・池田
森下(芳)・西川
野村・尾崎

24

例月現金出納検査
野村

25

トップセミナー
森下(雅)議長
戸梶・池田・
森下(芳)・西川
野村

27

黒潮町いの町・仁
淀川町新庁舎見学
藤原欠席

29

定期監査
野村

30
/
31

仁淀川改修期成同
盟会要望活動
森下(雅)議長

11
/
1

高知県戦没者追悼
式
森下(雅)議長

1
/
2

仁淀消防組合議会

視察研修
池田・横山・尾崎

3

第40回日高村社会
福祉大会
山中欠席

5

国道33号整備促進
期成同盟会高知県
協議会要望活動
森下(雅)議長

8

農業委員会 藤原

11

日高村防災訓練
全議員

12
/
14

議員行政視察研修
全議員

15

高岡郡監査委員研
修会
野村

18

能津活性化検討委
員会
森下(雅)議長
戸梶・池田
森下(芳)・西川
野村・尾崎

19

日下川改修期成同
盟会要望活動
森下(雅)議長

20
/
22

県選出国会議員と
町村議会議長との
意見交換会・第61
回全国町村議会議
長会全国大会・第

12回高幡町村議会
議長会県外研修
森下(雅)議長

22

年末年始の交通安
全運動打ち合わせ
森下(雅)議長

26

例月出納検査
野村

27

総務常任委員会
西川・池田
森下(雅)議長
森下(芳)・戸梶

28

定期監査
野村

28

振興対策特別委員
会
戸梶・池田・尾崎
横山・藤原
森下(雅)議長

29

治水対策特別委員
会
尾崎・戸梶
森下(芳)・池田
山中(雅)議長
森下(雅)議長

29

経済建設厚生常任
委員会
野村・藤原・尾崎
横山・山中
森下(雅)議長

29

入居者選考委員会
森下(芳)・尾崎

29

国民健康保険運営
協議会委員研修
森下(芳)・西川

30

議会運営委員会
戸梶・藤原・尾崎
横山・森下(芳)
森下(雅)議長

12
/
2

仁淀川下流衛生事
務組合議会
山中・横山

20

第29回「障がい者
の日」のつどい・
第30回日高村ボラ
ンティアまつり
森下(雅)議長

6
/
13

農業委員会 藤原
全員協議会

6

日高村議会第4回
定例会

19

佐川高等学校総合
発表会
森下(雅)議長
森下(芳)・西川

20

定期監査
野村

21

第2回仁淀川広域
市町村圏事務組合
議会定例会
池田・山中

25

日高村佐川町学校
組合議会定例会
森下(雅)議長
西川

仁淀消防組合定例
議会
尾崎・横山・池田

例月出納検査
野村

議員行政視察研修 報告

11月12日から14日に岡山県奈義町、同西粟倉村、鳥取県大山町に改選後、初行政視察研修を全議員参加のもと実施した。

奈義町

「子育て支援」

人口6千100人の町で平成の大合併で単独町村を選択した。10年後「子育て応援宣言」を打ち出し、独自の子育て支援策

と定住に向けた住宅施策、就労対策を進めてきた結果、平成26年に合計特殊出生率2・81（全国1・42、高知県1・45）を達成した。

町全体で子育てを応援し、地域ぐるみで子育て支援を進め、合計特殊出生率2・81を達成の鍵は「安心感」である。特に「なぎチャイルドホーム」での交流によって子育ての悩みを相談し、不安感が解消され、第2子、第3子へとつながっている。



出生率2.81奈義町を行政視察



西粟倉村のローカルベンチャー事業を行政視察

西粟倉村

「ローカルベンチャー事業」

「ローカルベンチャー事業」の面積の95%が森林で覆われ、人口は1千500人満たない村で「百年の森林構想」を掲げ、それに共感する挑戦者たちが集まり、活気ある村、魅力ある村で注目を集めている。

12年間で34事業が起業され、地域に根ざしたビジネスを展開し、ローカルベンチャーの集積地となっている。さらに、村の人口の1割程度が移住者やIターン者で人口が



大山町議会と意見交換

増え、子どもの数も増加傾向にあり、持続可能な地域を創出する「上質な田舎へ」の取り組みを行っている。

大山町

「議会改革」

大山町議会から議長をはじめ5人の議員が出席された。

大山町議会運営委員長より、第1次から第3次の議会改革調査委員会の報告及び第4次を本年立ち上げた説明があった。地方分権が進む中で、議会が果たすべき役割が重

要であり、時代にあるべき地方議会をめざす取り組みを実施している。

説明の後、大山町議員と活発な意見交換をし、有意義な研修となった。

研修を終えて、日高村の重要課題である子育て支援、定住事業、そして議会改革について、3町村の先進的な取り組みを研修し、日高村の発展や活性化、そして議会改革の推進について、議論を深めることができる研修となった。

編集後記

全国水源の里連絡協議会の企画・発行「水の源」43号より、鹿児島県鹿屋市串良町にある集落、柳谷地区。約300人が居住する同地区は、通称「やねだん」と呼ばれる。

22年前の1996年、弱冠55歳にして、地区の公民館長を任された豊重哲郎さん。彼がリーダーとなつて、村おこしの取り組みが始まった。

最初のころは「笛は吹けど踊らず」の状態だったと豊重さん。補助金（行政）に頼らないこと、感動を共有することをモットーに賛同者も

徐々に拡大していった。「東京ドームでイチローの試合を観戦する」を目標に地元の高校生と共

に、休耕田でサツマイモ栽培を始め、たのを皮切りに、やがて芋焼酎「やねだん」の製造・販売に進化。その他、様々な事業を成功させたことで、全所帯122戸に1万円のボーナスを支給するまでとなった。

巻頭インタビュー「水の源の里への思いを馳せる。ボーナスの出る村「やねだん」地域づくりは「感動」と「感謝」の結合」やねだん自治公民館長豊重哲郎さんの記事が感銘を受けた。

日高村も加盟するこの組織、巻末には、「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の言葉。



平成最後の成人式

上流、下流、対立の歴史を持つ日高村が大いに参考にし、能津地区を含めた一体的発展の道を、

議会、執行部ともに模索し続けなければならないと思います。

次回議会は、3月7日(木)午前10時に開会の予定です。お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 森下 雅文

議会広報発行調査

特別委員会

- 委員長 西川 龍子
- 副委員長 山中 鶴幸
- 委員 野村 重夫
- 委員 森下 芳文
- 委員 藤原 利彦

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。